



歯科医療をサポートする国家資格が歯科衛生士と歯科技工士である。歯科技工士は歯の詰め物やかぶせ物、入れ歯などを製作している。この歯科技工士の離職率が76・4%と異常に高く、合わせて高齢化を迎えている。離職の理由は、低賃金、



長時間労働、福利厚生の不備など。歯科業界の不況でこの傾向に拍車がかかっているようだ。

歯科技工士が少なくなれば今後ますます中国製技工物が多くなる。技工物は皆さんのお口の中に入るものであり、この問題は国会でも取り上げられた。この件についての詳しい情報は「みんなの歯科ネットワーク」(ホ

県歯科医師連盟評議員 鈴木 龍 「コデンタルスタッフ」

離職増える歯科技工士

□□⑤□□

ホームページ <http://www.minnanoshika.net/> を見てください。

歯科医師のコデンタルスタッフ(歯科衛生士ら歯科医療を支えるスタッフ)に対する愛情の無さが大きな原因であり、本当に申し訳ない。しかし現在の状況は愛情だけでは解決できないところまで来ている。それは歯科の保険診療に対する評価が異常に低いという根本的な原因を歯科業界が抱えているためである。大きな誤解が国民の中にはあるようだ。「歯科の保険評価は先進国の10〜60%である」ことを知っていただきたい。当然歯科技工士に対する評価も低くなる。

歯科衛生士は求人倍率が高く引く手あまた。歯科衛生士は歯科の看護師であり、三年教育の国家資格者だ。老人医療や歯周病治療には欠かせない存在となっている。「夜勤がない医療にかかわる仕事」としてはお勧めである。入学しやすく、国家試験の合格率も高い。一生の仕事とするだけの価値がある。